

人工膝関節置換術を受けられる方へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

日付		お名前 様		主治医		受持ち看護師		
		手術当日		術後1日目	術後2日目	術後4日目	術後5日目～	術後14日目～
入院当日（手術前日）		術前	術後					
目標・退院基準	手術について理解が出来る	安心して手術に望むことができる	全身の状態が落ち着いている	車椅子に乗ることが出来る	痛みのコントロールが出来る 創部に問題がない	→	関節を90度以上屈曲できる 歩行器歩行が出来る	退院後の生活の注意点が理解できる
検査	必要に応じて説明します		採血をします。（必要に応じて輸血をします）	採血をします。（必要に応じて輸血をします）			採血とレントゲンがあります （1週間毎）	
処置	手術する足に印をつけます		酸素マスクをつけます 足に血栓予防のフットポンプを付けます	酸素マスクをはずします 車椅子移乗開始し尿管はずれたら、フットポンプを外します	傷の横の管を抜きます			術後2週間ほどでガーゼが取れます
注射		点滴を開始します（1件目以外）	→	食事摂れたら点滴は終了します	→			
			化膿止めの点滴を行います 背中か点滴から持続的に痛み止めを入れます	→	痛み止めの管を抜きます			
内服薬	薬を確認しますので、入院時に薬とお薬手帳をご持参ください 薬の内容によっては、一時中断していただくことがあります。 再開時は医師の指示があります 飲んでいるお薬を全てお預かりします	麻酔科医の指示で薬を飲むことがあります	内服薬を再開します （水分摂取できるようになったら） 痛み止めの内服が始まります	内服薬を再開します 痛み止めの内服が始まります	血栓予防の薬を飲みます （術後7日目まで）			
食事	普通食（治療食）がです 夕食以降は食べないで下さい	食事はとらないでください	1例目の方は状態が落ち着いていたら 夕食（粥食）がです	朝から食事（お粥食）を食べることが出来ます 状態に応じて普通食（治療食）に変更します				
飲水制限	水分は麻酔科医の指示に従ってください	水分は麻酔科医の指示に従ってください	水分摂取の開始は医師の指示により手術後3時間経過したら許可が出ます					
活動	安静度	制限はありません 杖やシルバーカーを使用している方は、入院時にご持参ください	ベッド上安静ですが、ベッドの頭側を90度まで上げることができます 血液が溜まらないよう傷の横から管が入る場合があります。抜けてしまうと危険なので、看護師が体の向きを変えます	病状に応じて、歩行練習が始まります（車椅子から）	ベッドから離れて、過ごす時間を増やしましょう			
	排泄		尿の管が入ります	（尿の管を抜きます）	（尿の管を抜きます）			
	清潔	シャワー浴をします。 時間は看護師とご相談ください			体拭きと着替えを行います 看護師が介助します	傷の状態に応じてシャワー浴が許可されます。 看護師が介助します （介助シャワー2回/週）		
教育説明その他	看護師が入院生活に関する事や、手術後のスケジュールについて説明を行います （麻酔科医の診察、手術室看護師やの訪問があります） リハビリテーションがあります（膝を曲げる機械（CPM）についての説明もします）	排尿を済ませて浴衣に着替えてください 肌着は全て脱いでください 手術しない足に血栓予防のストッキングを履いてください	医師から術後に説明があります。 血栓ができないよう、足首を動かしてください 手術した足のしびれや感覚の鈍さが強くなる時や、息苦しい時、吐き気が辛い時は、看護師にお知らせ下さい	車椅子乗車が始まります。 安全に移動出来るようになるまで、看護師が付き添いますのでナースコールでお声がけ下さい CPM（自動で膝を曲げる機械）を開始します。		→	90度膝が曲がるようになったら 自分で膝を曲げる機械、またはクッションを使ってリハビリをします	→
備考	10時と19時に検温があります	6時に検温があります	体温、血圧などを適宜測定します	6時,10時,14時,19時に検温があります	2日目以降リハ室（1階）での訓練を開始します 歩行練習、可動域訓練、筋力訓練、自主トレーニング	→		退院が近くなったら、退院指導を行います （パンフレット参照）
						10時と19時に検温があります	→	

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。
ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。